

要 望 書

大飯原発敷地内を走る断層（破碎帯）は活断層の可能性が高いと専門家が警告
貴委員会ですら、現地での掘削調査を実施するよう決議してください
専門家（渡辺満久・東洋大学教授）のヒアリングを実施してください
それまでは、大飯原発3・4号の再稼働を止めてください

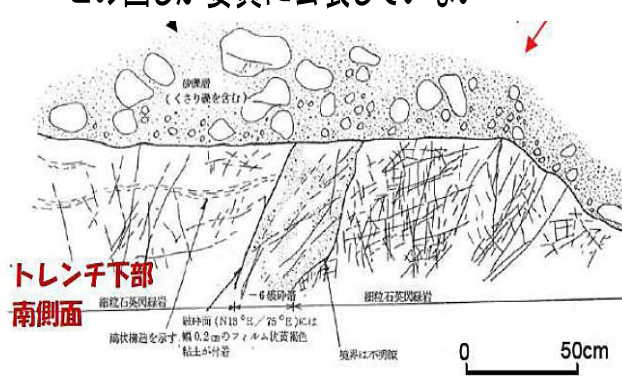
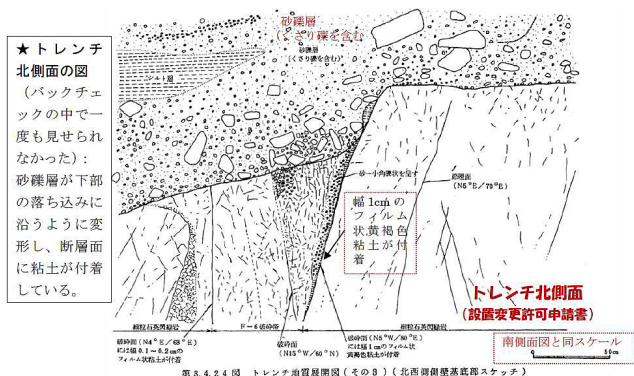
災害対策特別委員会 委員各位

貴委員会におかれましては、災害問題についてご尽力いただきありがとうございます。
さて、政府は大飯原発3・4号の再稼働を決定し、関西電力は7月1日（日）には3号機の原子炉を起動しようとしています。[※1]
しかし、大飯原発敷地を走る断層（破碎帯）が活断層である可能性が強まっています。

●政府はこれまで、耐震バックチェックの委員会で、この断層は活断層ではないと結論づけてきました（2010年）。しかし、その審議の過程では、一部の資料しか公表されておらず、活断層の可能性を示唆する図面（トレンチ北側図）は隠されたままでした。

委員に公開されていない図 活断層であることを強く示唆する

この図しか委員に公表していない



●渡辺満久教授（東洋大学・変動地形学）は、図面などを検討され、敷地内のF-6断層（破碎帯）が活断層の可能性が高いと指摘されています。

●6月27日には、超党派の5名の国会議員 [※2] と 渡辺教授が、大飯原発敷地内を視察 されました。その結果、建物などが建っておらず、掘削が可能な地点が3地点あることを確認されました。

掘削調査は数日で可能であり、埋め戻しも含めて1週間で可能とのこと。

●また、この視察によって、非常用取水路（耐震Sクラスの施設）がF-6断層を横断するように設置されていることが、関西電力の説明で明らかになりました。

原子力安全委員会の「発電用原子炉施設の耐震安全性に関する安全審査の手引き」に規定

されているように、Sクラス施設を活断層の上に設置することは手引きに違反します。

[※3]

●今年4月には、国の委員会（地震・津波に関する意見聴取会）が敦賀原発の敷地内調査を行い、設置以来約40年間、活断層ではないとされていた断層が、活断層であることが明らかになりました。

この敦賀原発の断層についても、渡辺教授は2008年から活断層であると警告されてきました。

原子力安全・保安院の判断が間違っていたことが明らかになったにもかかわらず、そのことについての反省は一言もありせん。このように、自らの誤りを認めることのない保安院が、大飯原発の断層について活断層ではないといい続けています。

官邸前の多くの人々の抗議行動に象徴されるよう、悲惨な福島原発事故を二度と繰り返してはならないという再稼働反対の強い意思を、ぜひともご理解ください。

また、地元福井県をはじめ多くの市民の声によって、保安院は、7月3日（火）の地震・津波に関する意見聴取会で、この問題を議題として取り上げることを決めました。

貴委員会で、早急に、下記を実施されるよう強く要望します。

1. 至急、現地での掘削調査を実施するよう決議してください。
2. 専門家（渡辺満久・東洋大学教授）のヒアリングを実施してください。
3. それまでは、大飯原発3・4号の再稼働を止めてください。

2012年6月30日

グリーン・アクション

京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

[※1] 大飯原発3・4号の再稼働予定

- ・ 3号機 7月1日夜：原子炉起動→ 4日：発電開始→ 8日：100%出力（調整運転）
→ 8月3日：国の最終確認→ 8月4or5日：本格運転
- ・ 4号機 7月17日：起動→ 20日：発電開始 →24日：100%出力（調整運転）
→ 8月23日：国の最終確認→ 8月24or25日：本格運転

[※2] 6月27日に大飯原発敷地内を視察された超党派5名の国会議員

福島みずほ議員（社民党）、橋本勉議員（民主党）、服部良一議員（社民党）、
三宅雪子議員（民主党）、平山誠議員（新党大地）

[※3] 渡辺満久教授の視察報告は、両団体のホームページに掲載しています。